

北海道地区本部第27回拡大執行委員会開催



3月5日、札幌市内において、第27回拡大執行委員会を開催しました。

会を代表して挨拶に立った菊地委員長は「新型コロナウイルスの国内感染が確認されてから2年が経過し、大変厳しい状況が続いている。しかし、ワクチン接種や治療薬開発の進展等により、社会はあらたなフェーズに入り、「ウィズコロナ」社会の継続を念頭に置いた「感染拡大防止と経済活動の両立」の意識が求められ始めている。厳しい時こそ組織に結集し、できることを着実に積み重ね、難局を克服していこう」と挨拶し、安全の確立、春闘、組織課題と選挙の取り組み等についても述べられました。

来賓の大杉中央執行委員長からは、①2022春闘情勢②貨物会社の経営状況と動向③政策実現に向けた取り組みと選挙の闘い④こくみん共済への移行、4点を主に報告され、すべての職場からしっかり意思統一し、春闘期の取り組みを強化して頂きたいと挨拶されました。

続いて吉永書記長より、第36回定期大会以降の経過報告及び議題について一括提案し、質疑では、2022春闘と組織課題、シニアを含めた労働条件の改善、新幹線札幌延伸と貨物会社の経営自立、こくみん共済への移行についてなどが出され、集約答弁を経て、2022春闘の当面する取り組みと具体的行動を確認しました。

また、第27回拡大執行委員会開催前にJR連合北海道地協主催で「安全の確立・2022春闘勝利・民主化闘争完遂・第26回参議院選挙闘争勝利」をスローガンに3.5全道総決起集会が開催されました。菊地副議長（貨物鉄産労）の開会あいさつで始まり、主催者を代表して挨拶に立った昆議長（JR北労組）は、①2022春闘の課題②安全の確立③民主化闘争の完遂④政策課題について⑤参議院選挙について述べられ、来賓挨拶では、参議院比例代表候補予定者の「柴 慎一」さんより力強い決意と挨拶を頂戴致しました。



その後「将来を見据えたJR産業のあり方と私たちの働き方」と題してJR連合・鎗光労働政策部長より講演をいただき、私たちが直面する課題や私たちがめざす姿・果たすべき役割などを短時間でしたが、詳しく説明していただきました。

決意表明では、浦島副委員長より安全の確立と組織課題、貨物会社の状況、春闘の取り組みについて述べられ、続いて、吉永事務局次長（貨物鉄産労）が集会宣言を提案し、全体の拍手で確認され、2022春闘を闘い抜く意思統一を図りました。